



筑豊高校と一緒に 子育て支援を

12月18日、市と筑豊高校による「直方市子育てサロン」の官学協働事業実施に関する協定書の調印式が同校でありました。両者が平成30年10月から協働して実施している子育てサロン「ちくちくワンダーランド」を、継続的に行うことを目的に結びました。子育て支援センターの職員と同校生活デザイン科の生徒たちが連携し、親子同士の交流や子育てに関する悩み相談など、子育て支援を月1回程度行います。

校長の刈谷勇次さんは「生徒が子育てに携わることで、自分の将来を考えると、自分の将来を考えると、良い機会にもなっている。官学連携を強化していければ」と期待を込めました。



県内最大級の規模 鎌倉時代の居館発見

12月21日、下境の光福寺で市による発掘調査現地説明会を開催しました。光福寺の納骨堂の建て替えに伴い、3度目の発掘調査を実施したものです。これまでの調査結果と合わせると、鎌倉時代の土壘（土手）や空堀を配した大規模な居館であることを確認しました。同時代のもので、これだけ大規模なものは、県内では他に現存していません。

説明会には、市内外から訪れた約60人が参加し、市の田村悟学芸員から説明を受けました。参加者の中園幸晴さん（54）は「小さいころ、光福寺の境内でいつも遊んでいた。その場所がこんな歴史の舞台だったとは」と驚いた様子でした。



半情兄弟が野球の 全国大会出場を報告

東海大学 2年生の半情冬馬さん（20）と直方北小5年生の半情航生さん（11）が12月27日、市庁舎を訪れて野球の全国大会出場を市長に報告しました。半情兄弟は直方市出身で、冬馬さんは昨年11月15日、20日に行われた明治神宮大会（大学の部）でベスト4に輝きました。航生さんは、今年春に行われる日本少年野球春季全国大会（小学生の部）に出場予定です。



冬馬さんは「今後プロ入りを目指して頑張りたい」、航生さんは「野球の練習は楽しい。高校は野球の強い高校を目指している」とそれぞれ抱負を語りました。市長は「今後も頑張る次へのステップを期待しています」と激励しました。

九州大学と連携 総合計画策定を推進

12月27日、市と九州大学都市研究センターが「新国富指標」を活用したまちづくりに関する連携協定を締結しました。「新国富指標」とはGDP（国内総生産）では測れない、自然や教育環境の豊かさなどを金銭的な価値に換算して測る物差し。令和3年度から始まる第6次直方市総合計画の策定を推進させるために結んだものです。

市長は「互いに連携を取りながら、持続可能な発展を実現したい」と期待を込めました。同センター長の馬奈木俊介さんは「新国富指標を活用することで、より具体的なまちづくりの形が見えてくる」と話しました。



ごみの処分は適正に

これからの季節は、進学や就職、転勤などで引越しが多くなります。引越しとなると、大量に出るのがごみ。その処分方法についてお知らせします。

自分で中継施設に持ち込む

引越しで家庭から出るごみは、中継施設に自分で搬入することができます。

《もやせなごみ》

ところ…可燃物中継所（下新入192311）
（TEL 23-2977）

受付日時…月曜日～金曜日

午前8時30分～正午、午後1時～3時30分

※土・日曜日および水曜日の祝日は、搬入できません。

《もやせなごみ》

ところ…不燃物中継所（下境391211）
（TEL 23-0402）

受付日時…月曜日～金曜日

午前9時～正午、午後1時～3時30分

各施設共通…10kgあたり150円（消費税別途）

※10kg未満でも150円（消費税別途）

※今年4月より10kgあたり200円（消費税別途）に料金が改定されます。

搬入できないもの

●市では処理できないもの

※詳細はお問い合わせください。

市に依頼する

ごみ指定袋に収まらない粗大ごみの処分を市に依頼することができます。

受付日時…月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時

※祝日についてはお問い合わせください。

※収集日・排出場所・処理料金等をお伝えします。

※1回につき5点以内でお願いします。

問い合わせ…粗大ごみ受付センター

（TEL 26-7880）

業者に依頼する

ごみを一度にまとめて処分したい場合は、市から許可を受けた事業者へ依頼できます。なお、法令により許可を受けていない業者に収集運搬をさせることはできません。

※詳細は、各事業者へお問い合わせください。

許可事業者

業者名	所在地	電話番号
ニシゲン	下新入192411	22-5566
アオイ工業	感田63218	26-4708
総合福祉会	頓野247411	24-5113

カラス対策にご協力ください

ごみステーション（ごみを出す場所）でカラス等の被害によりごみが散乱し、多くの方が迷惑しています。カラスにとつて、家庭から出される生ごみは「おいしいごちそう（エサ）」です。カラスは嗅覚ではなく「視覚」でエサを探しています。そのため、次の点がかラス対策のポイントです。
最も大切なのは、住民の皆さんがマナーを守ることです。次の具体例を参考に、地域をきれいにしましょう。

□ごみ出しルールを守る

指定袋の口をきちんと結んで、収集日の朝8時30分までにに出しましょう。

□中身を隠してごみを出す

生ごみは十分に水切りをし、新聞紙等で包んで出しましょう。

□防鳥ネットを利用する

目の細かいネットでごみを覆い、風にあおられないよう、おもりをつけまじょう。

※ネットは市では配布していません。
ステーションごとに用意してください。



問い合わせ…環境業務課庶務係（TEL 26-4992）